

とびきりの笑顔で  
お客様の心を  
キヤッチ！

## 有限会社 丸栄服部商店



(有) 丸栄服部商店 代表取締役 服部敏一さん

新光1丁目、道道小樽定山溪沿いに面している(有)丸栄服部商店は、地物を含む旬の野菜や果物を販売している青果店です。2代目社長の敏一さんと息子の添幸さんが同店を、奥様の洋子さんが南樽市場店を切り盛りし、8名の従業員とともに営業しています。

### 時代の変化と変わらないもの

(有)丸栄服部商店は、昭和44年、先代が新光3丁目目で鮮魚店を創業し、鮮魚の他精肉や青果、日用品などを販売していました。

昭和54年、鮮魚店から青果店に業態を変え、現在の店舗の向かいにあつた旧朝里市場内に移転しました。当時、市場は地域の台所として賑わっていましたが、時代の流れとともに市場内の店舗が減り、移転を決めた頃には、同店と惣菜店の2店舗までに減少してしまいました。

そんな折、新光地区に新たな出店場所を探していた薬局大手のサッポロドラッグストアから、「新規出店を検討しているので、一緒にやりませんか」と声をかけられました。利便性の向上や広い駐車場を確保できるなどのメリットがあると考え、朝

里市場から移転、令和元年6月、現在の場所でのリニューアルオープンしました。

移転して変わったことは、ドラッグストアでの買い物帰りの若いお客様や、手稲や倶知安、余市などからドライブ途中で立ち寄る方など、新しいお客様が増えたそうです。

「昨年、新型コロナウイルスの感染拡大防止や外出自粛により取引先の多くが大打撃を受け、飲食店などからの注文も減り、厳しい状況が続いていますが、大手スーパーの進出が続く流通激戦地の朝里・新光で、こうして商売を続けられているのは、地元の常連客に支えられているおかげ。昔も今もそれは変わらないです」と話します。

### 朝里産の新鮮な野菜

朝里は古くには農地が広がり、たくさんの方が農家があつたそうで、現在も一部の農家が野菜を栽培しています。現在のお店の場所も古くは農地だったそうです。夏場は近くの農家から仕入れた「茄子、胡瓜、ほうれん草、葱、トマト」など、鮮度と旬にこだわった野菜を販売しています。長く朝里で過ごしてきた服部社長にとって、地元の農家には古くから



の知り合いが多く、今も変わらずに応援していただいているそうです。野菜の収穫量は少量ですが、種類は豊富で、5月上旬には「アスパラ、トマト、ほうれん草」などがお店に並びます。7月には人気商品の一つである「ゆでとうきび」の販売準備でお店は大変忙しくなります。

### 自家製の漬け物

八百屋の一日は早く、早朝の仕入れ、午前8時の開店に合わせて準備を進め、開店後は、午前10時から正午頃までが、混雑のピークとなり、店内は新鮮野菜を選ぶお客様で賑わっています。

お店のレジ横で売られている浅漬は、社長の奥様の洋子さんの手作りです。朝早くに仕込み、営業時間に合わせて販売しています。シャキとした歯ごたえと、ほどよい塩味がとても美味しく、人気があります。

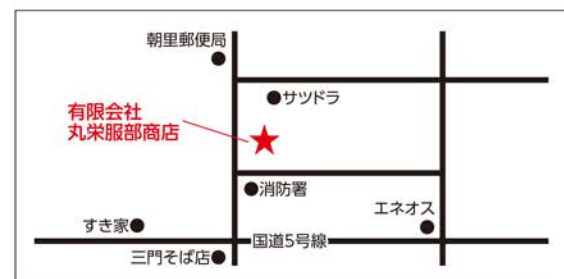
### お客様に喜んでいただきたい

服部社長は「世間話をしながらの接客は楽しいです。おすすめを紹介して、美味しかったと言っていたら



有限会社 丸栄服部商店  
小樽市新光1丁目9番13号  
TEL 54-5732  
定休日 日曜日  
営業時間 8:00~18:00

服部商店 南樽市場店  
小樽市新富町12番1号  
TEL 29-1110  
定休日 日曜日  
営業時間 9:00~17:30



南樽市場店のスタッフはチームワークが抜群！  
「20年以上働いてもらっている信頼できるスタッフです」と洋子さん